



# へき地の健康をまもる!!

## 大型巡回診療車も活動—



▲ 山道を3キロも歩いて来られたというおばあさん。へき地巡回診療はいつも大繁昌。

「ハイ大きく息をして下さい……」  
車の中の診察室で。



都市部から遠く離れ、地域的に恵まれないへき地。過疎の問題はますます深刻化を加えています。県ではそのため、地域的なアンバランスを是正する、という立場から積極的な施策をすすめていますが、とくにへき地の健康を守ることはもっと大切なことです。

今度、新しく購入した「大型巡回診療車」は、眼底カメラ、心電計、胃カメラ……などの医療器具と診察室が装備されていますので、正確な診断、治療をすることができます。

県では、この「動く診療所」をできるだけ有効に使って、へき地診療を強化していきます。

十五、六人の村の方たちが、もう診療を待っていました。

「三ヶ月ほど前から腰のあたりが痛んでいたのですが、がまんして畠仕事をしていました」というおばあさん。

「このごろ目がかすむのです……」といわれる方たちが、つづきと診療車へ入って、医師の診療を受けます。

午前中は、約五十人、午後はさらに車で四十分ほど奥へ入った地区で三十人の方を診療しました。

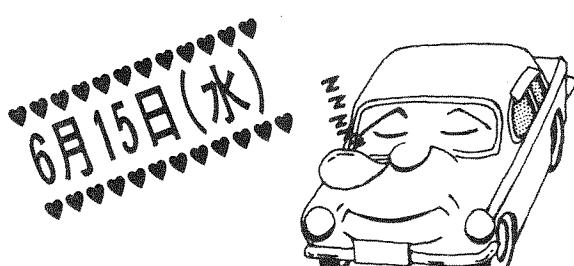
午前九時半、現地に到着。十一ヵ所もあり、ここに住んでいる方たちが、都市部に住んでいる方とひとしく醫療を受けられるようとに、県医師会と力を合わせて、この大型巡回診療車の利用とあわせて、いろいろの対策を考えています。

また、町村役場に駐在保健婦を配置し、健康相談や衛生指導などを実行なっています。

将来構想として、コンピューターを使って、へき地の健康管理を行なおうという画期的な対策を医大や医師会とタイアップして進めています。

県民の健康管理に活躍するいろいろの車		
車名	台数	用途
大型へき地巡回診療車	1	各種医療器具を装備、どこでも診療可能なへき地専用車
へき地巡回ライトバン	10	簡単な医療器具を積み、診療
歯科へき地巡回診療車	1	へき地の方の歯の検診と治療
胃検診車(希望)	2	胃ガンの早期発見
婦人検診車(しあわせ)	1	子宮ガンの早期発見
結核検診車(ヘルス)	9	胸部結核の早期発見
栄養指導車(健康)	2	栄養指導

交通戦争さようなら! の願いをこめて  
**愛車一日休みの日**



交通事故や、くるまによる公害がふえ続けています。あなただけかわりあいがないとはいません。車社会のあり方について、真剣に考えてみようではありませんか…





# 県民の友

現在、消費生活センターでは

木曜教室でも活躍

最近は、主婦の方々の消費生活に対する関心が高く、毎日十数件の相談が寄せられています。相談の中には、最近になってあるP.C.B.や野菜の残留農薬、有害食品に関するものなどが多く、毎日最新の情報をキャッチしていかなければなりません。そこで、毎朝、新聞や各種の資料から新しい情報をつかみ正しい知識を吸収しています。

**第七期木曜教室**  
〔食生活シリーズ〕  
6月8日 魚のねだん（希望者は魚市場見学）  
6月15日 調味料あれこれ  
6月22日 健康的な美容食（調理実習）  
6月29日 台所経済学

消費生活センターは

## 文化ニュース

県民文化会館 ☎ (0734) 36-1331

(大ホール)

6月9日 民音「ビリーボーン楽団」  
19時 1,500円  
11日 バレ発表会 13時 無料  
17日 民音「ミヤコ蝶々のミュージカル・女ひとり」14時 18時30分 1,000円  
18日 和歌山バレエ現代舞踊合同公演  
13時 無料  
24日 和歌山混声合唱団第6回発表会  
18時30分 250円  
25日 人形劇公演 14時 450円 350円

(小ホール)

6月10日 映画と講演の会 13時30分 無料  
11日 管弦演奏会 13時30分 無料  
15日 新人演奏会（ピアノ） 18時30分 400円  
18日 ピアノ発表会 13時30分 無料  
25日 ピアノ発表会 13時30分 無料

近代美術館 ☎ (0734) 36-1331

6月7日～12日 示現会和歌山展（有料）  
15日～26日 第10回県美術家協会展、  
29日～7月3日 第2回洋画12人展  
29日～7月3日 春の学校美術展  
29日～7月3日 和大2回生グループ展  
29日～7月3日 オークレイ展

博物館 ☎ (0734) 23-2467

（常設）和歌山の文化財  
特別陳列 文楽の人形（7月25日まで）  
一般50円 学生30円

紀伊風土記の丘 ☎ (0734) 71-6123

資料館 常設展 春の特別展「日本の旧石器展」（6月6日～7月2日）  
全国から先土器時代の石器を中心に、約350点を集めて、研究コーナーに展示。  
一般50円 学生40円～10円

紀伊風土記の丘への交通は

和佐線 岩橋バス停から南へ徒歩10分  
鳴神線 鳴神団地バス停から東へ徒歩15分

\*博物館と資料館は毎週月曜日と祝日の翌日が休館日です。

電波を結ぶ県の間と県政

テレビ「紀州アルバム」「山の駆在さん」  
四国テレビ

6月4日・11日 7:45～8:00

毎日テレビ

6月9日 8:00～8:15

家族ぐるみで、住民の中にとけこみ、山里の平和を守る田辺警察署近露駐在所（中辺路町）の小井力巡査長一家の生活記録。

ラジオ「県庁だより」「県政の動きとお知らせ」  
和歌山放送（日曜日を除く毎日）12:30～12:35

映画「県政トピックス」  
県内常設映画館で上映中

## よりよい消費生活を

がんばる消費生活

専門コンサルタント

消費生活センターには、県民のみなさんから寄せられる消費生活相談や消費者教育にあたる二人の専門コンサルタントがいます。

昭和四十六年一月、県から専門コンサルタントに委嘱された原田幸子さん、石倉満子さんの若いお二人です。



ゆっくり新聞を読むのが朝一番の仕事です

消費者から相談のあった製品を調べるコンサルタント

ます。

昭和四十六年一月、県から専門コンサルタントに委嘱された原田幸子さん、石倉満子さんの若いお二人です。

また、県内各地の婦人会や団体から、出張講座の依頼も年間六十件ほどあり、特に、お二人の料理実習は好評を得ています。

ます。

特に、新製品を使った料理などときは、予習のため家族の方に試食をしてもらいます。

しかし、家庭で料理をする機会の少ないお二人が台所に行くと、家族の方はどんなのがでてくるのか、楽しみと不安が半々で落ち着かないそうです。

また、県内各地の婦人会や団体から、出張講座の依頼も年間六十件ほどあり、特に、お二人の料理実習は好評を得ています。

また、県内各地の婦人会や団体